

# 指定管理者更新に係る検証シート

## 1 施設及び指定管理者の概要

施設名	愛媛県総合運動公園	施設所管課	土木部道路都市局都市整備課
設置年月日	昭和55年5月15日	耐用年数	50年
現指定管理者名	財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団	現指定期間	平成31年4月～令和6年3月(5年間)
これまでの指定の状況	第1期:平成18年4月～平成21年3月(3年間)、第2期:平成21年4月～平成26年3月(5年間)、第3期:平成26年4月～平成31年3月(5年間)		

## 2 検証のための指標の推移

### (1) 利用者数

	平成17年度 (制度導入前年度)	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	732,838 人	572,928 人	564,082 人	328,772 人	389,163 人	455,229 人 (331,573 人)
対制度導入前年度比			77.0 %	44.9 %	53.1 %	62.1 %
対現指定期間前年度比			98.5 %	57.4 %	67.9 %	79.5 %

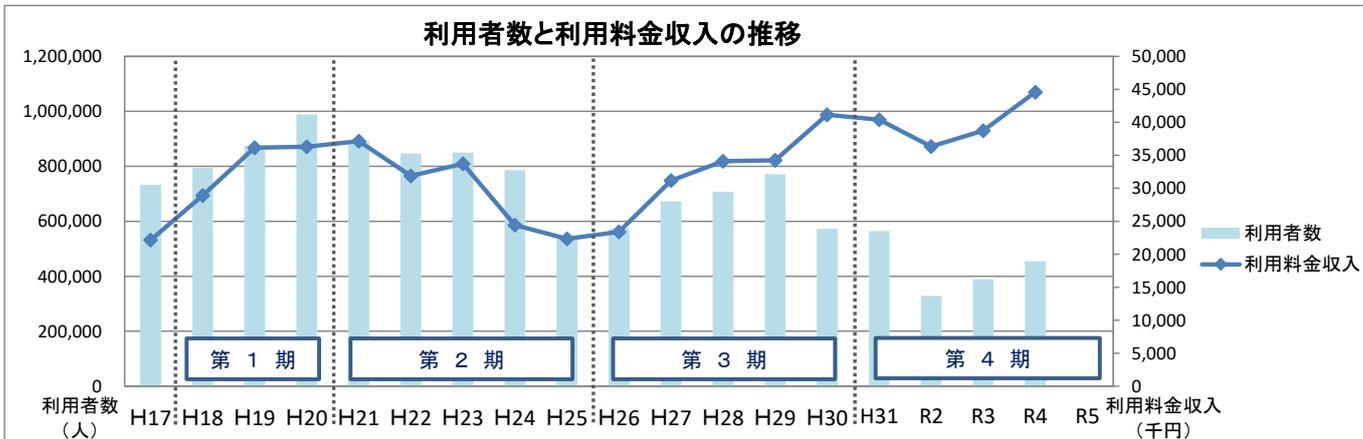
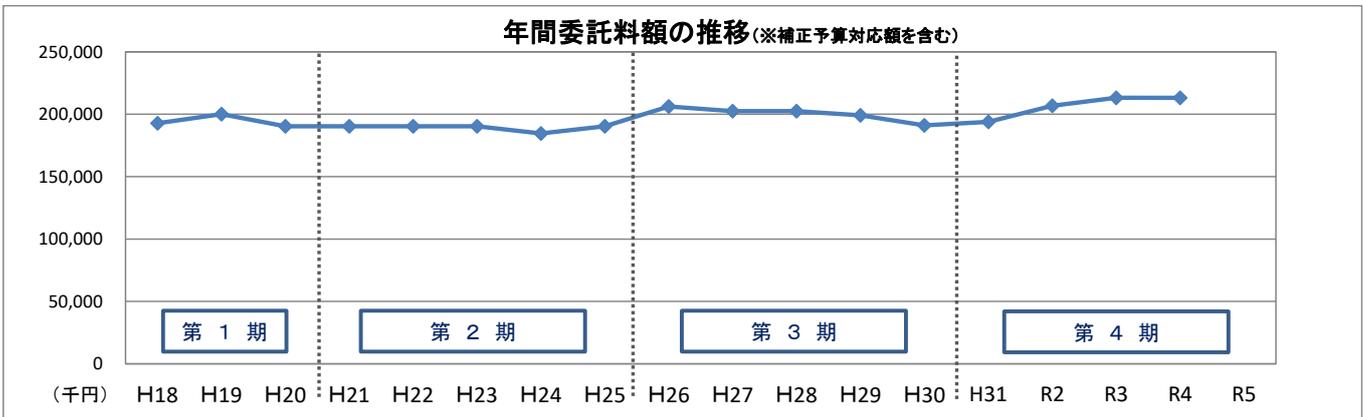
(※) 令和4年度については、上段に年間見込数を、下段( )内には令和4年10月末までの実績数を記載。

### (2) 収支状況

	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度※1
収(入)	254,851 千円	255,156 千円	254,904 千円	266,329 千円	273,941 千円
委託料	191,120 千円	193,892 千円	193,044 千円	191,511 千円	191,511 千円
委託料(補正予算対応額)※2	— 千円	67 千円	13,682 千円	21,701 千円	21,632 千円
利用料金収入	41,143 千円	40,403 千円	36,346 千円	38,730 千円	44,588 千円
その他の収入	22,588 千円	20,794 千円	11,832 千円	14,387 千円	16,210 千円
支(出)	251,430 千円	257,634 千円	256,882 千円	266,812 千円	278,061 千円
収(A) - 支(B)	3,421 千円	▲ 2,478 千円	▲ 1,978 千円	▲ 483 千円	▲ 4,120 千円

(※1) 令和4年度については見込み額を記載。

(※2) 新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、補正予算で増額した委託料を記載



### (3) 経費削減のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 外部委託の内容を検討し、仕様書の内容を見直すことによる委託料の削減
- 指定管理者が管理可能な業務は自身での実施に努め、経費の削減を実施
- 職員の日常的な園内清掃により、経費の削減を実施
- 組織体制の見直し等による人件費の削減
- デマント監視装置の設置や冷暖房の適正温度の設定等による光熱水費の削減
- 県が整備した太陽光発電装置により発電した電気を体育館で利用することによる省エネの実施
- 大会主催者を通じ、ごみの持ち帰りを呼びかける等によるごみの減量化

### (4) サービス向上のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 各種スポーツ大会の開催に係る会場の供用
- 利用者のニーズに応えたスポーツ教室、スポーツ大会等の開催
- 地域や団体等の要望に応えたニュースポーツ用具や体力測定用具の無料貸出し
- プロスポーツリーグ等の開催（運営協力、施設整備、芝生管理）
- ホームページやSNSの活用に加え、公園情報誌、行事予定表の発行による広報
- 車椅子、ベビーカーを常備し無料貸出し

### (5) コロナ禍における感染対策や利用者確保のための主な取組み

- 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針を遵守の上、競技団体等と適宜協議・連携し、感染フェーズに応じて適切に対応した。
- 愛媛県施設利用予約システムを活用した施設の予約管理によりインターネット上から予約できるように対応することで、円滑な供用を行った。

## 3 次期更新に向けての評価等

### (1) 現指定期間における指定管理者制度の導入効果の検証

<p>利用拡大の観点から (利用者数、利用料金収入)</p>	<p>第4期(H31～R4)は新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止や無観客開催、利用制限を余儀なくされたため、利用者数の落ち込みが見られたが、感染状況のフェーズに合わせ、臨機応変に対応することで徐々に回復しつつある。 利用料金収入については、Jリーグ等のイベントの増加により制度導入前と比較し増加している。 また、隣接するえひめこどもの城、とべ動物園と連携し、とべもりエリア全体の交流拡大を狙ったイベントを展開し、利用者数の増加を図っている。</p>
<p>効率化の観点から (経費削減)</p>	<p>委託業務の見直しや光熱水費の削減等に積極的に取り組んでおり、委託料は制度導入前と比較し約12%削減され、制度導入の効果が認められる。</p>
<p>利便性・県民サービス向上の観点から</p>	<p>園内の各施設窓口5か所に「意見箱」を設置することで利用者からの意見を把握し、反映に努めている。 また、スポーツ教室参加者にもアンケートを行うことで、教室の充実等に努めている。</p>
<p>その他の観点から (前指定期間と比較して特筆すべき成果、利用者等の安全性の確保、収入確保に向けた取組みの状況(広告事業等)、その他協定の履行状況など)</p>	<p>園内の主要施設にAEDを設置することに加え、職員の救命救急講習を実施して利用者の安全対策に努めている。 自主事業として、スポーツ教室等を積極的に開催することで、参加料収入を確保している。 レクリエーション、憩いの場としても気持ちよく安全・安心に利用できるよう、園内の美化・清掃や、施設の適正管理に努めている。</p>

### (2) 次期更新に向けての方針及びその説明

総合運動公園は、本県のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、令和5年度にねりんピック愛媛(えがお)のえひめ2023の総合開会式が予定されているほか、各種スポーツ大会の会場として利用されるとともに、魅力あるスポーツ教室の実施など、民間の創意工夫とノウハウを活用して利用促進を図る必要がある。

また、施設の維持管理においても、効果的かつ効率的な運営が求められることから、今後も指定管理者制度を継続したい。